

パブリックコメントに対する意見整理票

ご意見の概要	県としての考え方及び計画への対応
<p>①子どもたちに日本型食生活を身につけさせるためには、食事を作らせることが必要である。多様で豊かな「食」に触れる、味わう体験からスタートして、食事をつなげる道筋をもう一步踏み込んで計画に盛り込んではいかがか。</p>	<p>●現在、松江市立八雲小学校において、栄養職員を中核とした学校、家庭、地域の連携による食育の推進が取組まれています。この取組をイメージし、推進していくこととしています。 <第IV章2-(2)コラム(活動実践例)として松江市立八雲小学校の推進イメージを記載しています。></p>
<p>②「食」にまつわる様々な催しが各地で展開されているが、それらに関する情報を整理共有することにより交流の機会を増やし、地域内「食」ツーリズムとでもいう仕組みを樹立してはいかがか。</p>	<p>●今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
<p>③歯科保健教育では、自身の口への認識を深めることを通じて、学習の中で自ら気づき、行動変容し、自立的な健康行動をするように導いていくことが重視されてきた。食育推進計画にこの視点を盛り込み、真に豊かな食生活の実践に展開しうるものとしていただきたい。</p>	<p>●保育所、幼稚園から小学校にかけて、学校歯科医との連携を図り、よくかんで食べる等、歯と口腔機能の必要性についての教育を進めていくこととします。 <第IV章2-(2)に記載します。また、コラム(学校歯科保健と食教育の関わり)としてフローチャートを追加します。></p>
<p>④基本理念の「食べる力」の解説コラムに、「…咀嚼する力はもちろんのこと、歯を大切にする、味わって食べる…」と定義していただきたい。</p>	<p>●食べる力という言葉を改め、食べる知恵とし、提案趣旨を踏まえて、もう少し詳しく説明します。 <第II章1 用語説明(食べる知恵)に追加記載します。></p>
<p>⑤「しまねの食をめぐる現状と課題」の「食生活と健康」では、島根県で行われた8020関連事業のデータと課題を示すとよい。</p>	<p>●提案趣旨を踏まえ、8020関連事業のデータから8020達成の状況を追加記載します。 <第III章2 現状値等データに記載します></p>

--	--

ご意見の概要	県としての考え方及び計画への対応
<p>⑥「しまねの食育の推進施策」の「個別施策」に「歯を大切に意識を向上させる」を加える。また、「食育月間、食育の日、しまね家庭の日」を普及すると同時に、既に普及している「歯の衛生週間」と連携して「歯の衛生週間に食育の普及を図る」を追加する。</p>	<p>●提案趣旨を踏まえ、内容に、歯と口腔機能の必要性について教育を進めていくことを追加記載します。 <第IV章2-(2)に記載します。> また、食育の普及に向けては、各団体の役割として今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
<p>⑦「学校、幼稚園、保育所等における食育の推進」において、「食べるために必要な口腔機能について、健康教室を通して理解を深める」を「食べるために必要な歯と口腔機能について…」に置き換える。</p>	<p>●提案趣旨を踏まえ、内容に、歯と口腔機能の必要性について教育を進めていくことを追加記載します。 <第IV章2-(2)に記載します。></p>
<p>⑧8020達成者の中で、歯と歯周組織の優秀な方々への表彰を行っているが、その受賞者のエピソードをコラムに掲載すると良い。</p>	<p>●提案趣旨を踏まえて、コラムに追加します。 <第IV章2-(2)コラムに追加記載します。></p>
<p>⑨栄養士さんはこれからのキーパーソンになると思う。</p>	<p>●今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
<p>⑩地産地消のほうに内容が傾倒しすぎではないか。栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加等を問題に上げられているのであれば、その食材を体の中にどのように取り込んでいくかというような指導等も必要と考える。</p>	<p>●提案趣旨を踏まえ、内容に、保健指導の実施について追加記載します。 <第IV章2-(3)-A)-③に記載します。></p>
<p>⑪子供たちの、食べ方（噛み方、嚥下の仕方等）について調査をしてはどうか。食育できちんとした食べ方、飲み込み方が実践できるようになれ</p>	<p>●今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

ばいいと思う。

ご意見の概要	県としての考え方及び計画への対応
<p>⑫「個食」「孤食」がもたらす子どもの心への影響を心配している。現在は給食があるために親から子へのメッセージの機会が奪われているように感じているので、週に一日は弁当の日にして家庭力の回復に貢献してはどうか。</p> <p>食を通じたコミュニケーションをもっと重視することこそ最も重要な『食育』だと思う。</p>	<p>●本計画では、家庭における食育の推進（第IV章2-(1)）や家庭の役割（第V章1）において家族のふれあいを促進しています。また、県民一人ひとりの実践に向けて（第VI章）では、家庭に向けてのメッセージを記載し、できることからひとつでも取組むことを進めています。</p> <p>食を通じたコミュニケーションについては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
<p>⑬教育現場において、実行あるものと考え、野菜の品種、は種、定植時期、栽植密度、施肥法、施肥量等十分検討すべきである</p>	<p>●今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
<p>⑭農林水産部各課と健康推進課等横の連携を密にして十分検討される必要があり、教育現場からの実績を積み上げが大切である。学校給食における地産地消の推進では、関係者に安全・安心な地元の（地産地消の）食材の生産現場を認識してもらうことが重要と考える。</p>	<p>●庁内に、関係部局からなる食育・食の安全推進会議を設置し、連携した食育推進体制を整えています。今後、より連携して食育を推進することとしています。</p>
<p>⑮食育教育の中国、四国地方の優良事例集の作成、優良事例の表彰と紹介を実施してはどうか。</p>	<p>●今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
<p>⑯「食べ方」は「生き方」そのものであるが、伝承されていない。</p> <ul style="list-style-type: none">・食事の最初と最後には「いただきます」「ごちそうさま」という。・食事中は立って歩かない。食べる音、食器の音はたてない。	<p>●教育委員会では、食に関する学習教材として「食の学習ノート」を作成しており、全小中学校で活用しています。この度の改訂版に「正しい食べ方、マナー等」を盛り込み、学校と家庭とが連携した取組をさらに進めていくこととしています。</p>

・食器の置き場所や箸の置き方、使い方等が教えられていない。

<第IV章2-(2)に食の学習ノートについて記載しています。>

ご意見の概要	県としての考え方及び計画への対応
<p>・あれこれとまんべんなく食べる訓練がされていない。</p> <p>・背筋を伸ばして正しい姿勢で食べる。 (特に朝食は厳粛の雰囲気)</p> <p>・なるべく時間調整をして、少なくとも1日1回は家族そろって食事をする。 こんなことの回復が人間作りの根幹である。</p> <p>⑰食育推進計画を地産地消の店(直売所)でPRするため、幟などの推進資材を提供していただけないか。</p>	<p>●今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

